

# 福井県青少年センター(1/2)

青少年センターは  
福井運動公園に隣接し  
交通の便もよい宿泊研修施設です

所在地	福井市福新町2505		
設置年月日	昭和45年10月1日		
施設の種類	宿泊・研修施設	施設管理主体	県
設置の目的	青少年を対象とした各種体験活動や研修会などを開催し、心身ともに健全な青少年の育成を図る。		
概要 (構造、面積、主な機能)	鉄筋コンクリート造3階他、延2,898.79㎡ 宿泊定員(70名)大研修室(120名)第1研修室(45名)第2研修室(30名) 第3研修室(30名)第4研修室(50名)相談室(10名程度)講堂(200名)		
職員数	職員9人(兼務職員3名含む)		

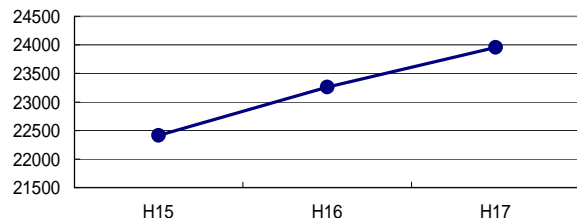
## 利用状況等

	H15	H16	H17
利用者数(人)	22,416	23,263	23,958

## 利用者負担(利用料金)等

宿泊料	26歳以上	880円
	26歳未満	530円
	高校生	390円
	小・中学生	270円

利用者数の年次推移



## 平成17年度の特徴について

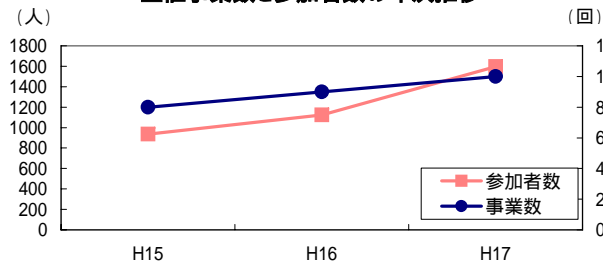
### 事業実績

児童・生徒や青少年の地域に根ざした多様な体験活動や交流活動を実施し、また、各種のボランティア研修会を開催した結果、年間で延べ2万3千人の利用実績がありました。

これらの取組みにより、平成17年度の利用者数は対前年比3.0%の増加となりました。

今後は、交通の便がよく、都市型の研修・宿泊施設という立地条件を活かした各種体験活動や交流活動に取組み、利用の促進を図っていきます。

主催事業数と参加者数の年次推移



ボランティアスクール



### 利用状況の推移

平成15年度から平成17年度までの3年間の利用者数は、事業回数が増えたことで利用団体数・宿泊者数・延利用者数が増加しています。平成17年度には、NPOとの連携事業が加わり、前年度に比べて利用者数が増えています。

# 福井県立青少年センター(2/2)

## 行政コスト計算書(平成17年度) (単位 千円)

		総額	構成比	前年比
人にかかるコスト	人件費	57,966	57.7%	96.9%
	退職給与引当金繰入	180	0.2%	-
	計	58,146	57.9%	100.0%
物にかかるコスト	物件費	8,220	8.2%	102.2%
	維持補修費	1,161	1.2%	39.3%
	減価償却費	32,723	32.6%	100.0%
	計	42,104	42.0%	96.3%
その他	公債費(利子)	0	0.0%	-
	その他	173	0.1%	100.0%
	計	173	0.1%	100.0%
合計		100,423	100.0%	98.4%

## バランスシート(平成18年3月31日現在) (単位 千円)

借方			貸方		
資産		前年比	負債		前年比
有形固定資産	491,790	94%	固定負債	47,340	100%
投資等	0	-	流動負債	0	-
流動資産	0	-	正味資産	444,450	93%
計	491,790	94%	計	491,790	94%

### 施設の特徴

福井県立青少年センターは、福井運動公園施設に隣接するため、各種の大会に参加する県内外からの宿泊団体等に利用されています。  
 大学生、(小・中・高校生)を中心としたボランティアリーダーの育成の場として活用されています。  
 児童・生徒の社会性や豊かな人間性を育む観点から、宿泊体験活動を低廉な価格で利用できるよう配慮しております。

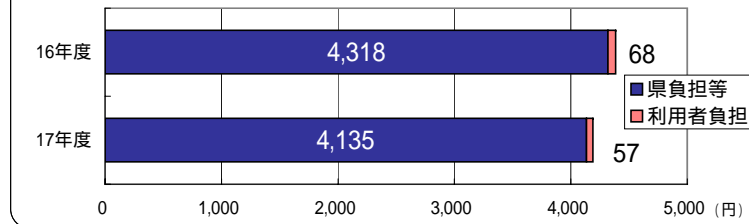
## 収入 (単位 千円)

収入	利用料等収入	1,360	1.4%	85.7%
	その他収入	216	0.2%	97.7%
	一般財源	98,847	98.4%	98.6%

## (前年比)

利用料等収入計	1,360,000 円	85.7%
利用者1人あたり平均利用料	57 円	83.8%
利用者1人あたりコスト	4,192 円	95.6%

利用者1人あたりのコスト負担の状況



レーザークラフト(交流ひろば)



NPO(ダンス)



NPO(リーダースシアター)



NPO(パントマイム)



### 今後の事業方針、取り組み内容

年間を通じ、週末や放課後における子どもの居場所づくりを目指します。  
 近隣の施設(小学校・公民館等)と連携して、地域に開かれた施設として体験活動や異世代交流の機会を提供できる事業を実施します。

バランスシート、行政コスト計算書の特徴  
 教育施設として、宿泊費等を低く設定しているため、利用者1人あたりのコストは高くなっていますが、前年比較では減少しています。